

# 労福協たより

2021年11月

第26号  
発行責任者  
小林 純一

## 第56回定期総会を開催しました！

2021年7月16日（金）、富士宮市民文化会館小ホールにて第56回富士宮地区労福協総会を開催し、労福協会員の代議員など**総勢39名の皆様にご参加**いただきました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため少人数・短時間の運営とさせていただきました。

冒頭、小林会長より、労福協は労働者同士がお互いの福祉の向上を目指す

「**共助**」の団体として、労働者目線での行政要望など、**コロナ禍にあっても前を向いて活動を継続していく**ことの重要性を呼びかけました。また、

昨年度は様々なイベントが中止になる中、若者の会やホールアース研究所の協力を得ながら、会員一丸で55周年記念イベントを成功させることが

できたことにあらためて謝意を伝えました。コロナ禍あるいはアフターコロナで状況が一変したとしても、昨年度の経験を活かし、相互に確認しあいながら取り組みを進めていきたいとのあいさつがありました。



また、ご多忙中にもかかわらず、来賓として臨席いただいた須藤富士宮市長からは、労働者の生活向上に向け積極的活動を展開する労福協を応援いただくとともに、富士宮市も新型コロナ対策の様々な取り組みを進めており、**今後も充実した労働環境づくりを進めていきたい**との力強いメッセージをいただきました。

続いて6議案を提案、全てについて満場一致の拍手で承認いただき、最後に第7号議案として、メインスローガンである「**すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくらう！！**」の他、3つのサブスローガンを提案・採択して終了しました。今回、**労福協規約を一部改正**しましたので、あらためての確認をお願いします。



富士宮地区労福協は、基本理念にある「労働者の福祉要求の実現を通じて、労働者及びその家族の生活向上と安定を図り、真に平和で豊かな暮らしを保障する社会を創る」を、新型コロナウイルス感染症下にあっても不変のテーマとし、会員の福祉向上に向けた活動を進めていきます。

## 労福協・退福共合同グラウンドゴルフ大会の中止

本年9月末に退福共と合同開催を予定していたグラウンドゴルフ大会は、**新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言により中止**とさせていただきます。次回開催の際には、奮ってご参加いただきますようお願いします。

## 富士急ハイランド現地集合ツアー

2021年10月23日(土)に、昨年度に引き続き**富士急ハイランド現地集合ツアー**を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策として今年も現地集合型のツアーとし、当初は150名の募集とさせていただきましたが、10月に入り緊急事態宣言の解除などあって、最終的に**40組162名**と多くの皆さまにご参加をいただきました。

当日は秋晴れの下、多少の肌寒さはありませんでしたが、ご家族、友人同士でマスク着用ながらも大絶叫しながら、秋の1日を満喫いただけたのではないかと思います。

参加者アンケートでは「**久しぶりのお出かけを楽しめた**」との声もいただき、巣ごもり生活のストレスからも解消され、安心して楽しみたいだけイベントになったのではないかと思います。



## 親子で楽しむ里山の恵みでピザ作り

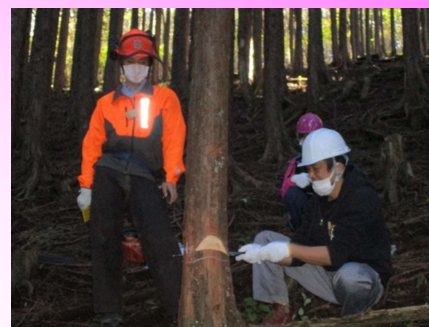
2021年11月6日(土)に、毎年好評の里山の恵み企画第4弾として、**親子で楽しむピザ作り in 柚野**を開催し、**5家族14名**の方にご参加いただきました。今回も**ホールアース**さんのご協力により、屋外で里山の野菜と鹿肉を使った特製ピザ作りを親子で楽しみます。野菜を切って、盛り付け、焼くという手順ですが、小さなお子さんは、初めての包丁体験にドキドキしながらも、上手に切り分け、思い思いにピザをトッピング。顔やハート型など、家族ごとにオリジナリティを發揮していました。トッピングできたピザは、敷地内にある**手作りのピザ窯**で焼き上げます。出来上がりを真剣に見つめる子供たち。自分達のピザが焼き上がると、施設内に広がりながらアツアツのピザを頬張り、「**おいしい**」の声が聞かれました。苦手な野菜もこの日ばかりは特別な味わいだったようです。



## 第11回森づくり活動を行いました！

第11回森づくり活動を2021年11月13日(土)に実施し、労福協役員を中心に**19名**が参加しました。富士宮地区労福協の**シンボリック的な社会貢献活動**として2013年から始まったこの活動も**10回を超え**、活動の定着とともに、森には**木漏れ日の届く場所が増えている**ことを実感しています。当初から活動に協力いただいている**ホールアース**さんからは3名にご参加、ご指導いただきましたが、あらためてこの活動の大切さについて丁寧にご説明をいただきました。

今回も、初心者や2回目の参加者が多く、**女性も3名参加**いただけたこともあり、最初は悪戦苦闘しましたが、1本2本と木を伐り進めるとともにチームワークも向上し、狙った方向に木を倒せるようになります。木を倒す際はロープで引っ張り、伐り倒した木を運ぶのも人力。足場の悪い森の中で、伐っては運ぶの作業に



加えマスクの息苦しさもあり大変でしたが、活動を通じて大きな達成感を得ることができました。

森づくり活動の場所は、田貫湖畔の「ろうきん森の学校」の看板が目印です。木の伐採は、**よりよい木を育て、森の再生に向け大切な活動**となります。下草の茂る明るい森になることを願いながら、労福協では今後もこの活動を継続していきます。



活動の詳細は「**富士宮地区労福協ホームページ**」を是非ご覧ください！